

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和元年 9月 17日

兵庫県知事 殿

提出者

住所 兵庫県高砂市曾根町2900

氏名 東洋紡(株)高砂工場  
中尾 良治

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 079-447-7160

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東洋紡株式会社 高砂工場
事業場の所在地	兵庫県高砂市曾根町2900
計画期間	平成30年4月1日から平成31年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	1639 その他の有機化学工業製品製造業
②事業の規模	製品出荷額 573.92百万円 (平成30年度実績)
③従業員数	154人 (平成31年3月末)
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1, 2, 3のとおり

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 <b>別紙1, 2, 3のとおり</b>	
(管理体制図)	
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 <b>別紙1, 2, 3のとおり</b>	
①現状	【前年度（平成 30 年度）実績】
	特別管理産業廃棄物の種類
	排出量
	(これまでに実施した取組)
②計画	【目標】
	特別管理産業廃棄物の種類
	排出量
	(今後実施する予定の取組)
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項 <b>別紙1, 2, 3のとおり</b>	
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項		別紙1,2,3のとおり	
①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量		t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量		t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項		別紙1,2,3のとおり	
①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量		t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量		t
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量		t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量		t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項		別紙1,2,3のとおり	
①現状	【前年度（平成 30 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)		t
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)		t

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項		別紙1,2,3のとおり	
①現状	【前年度（平成 30 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		t
	優良認定処理業者への処理委託量		t
	再生利用業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
(今後実施する予定の取組)		
別紙1,2,3のとおり		
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度(平成30年度実績)】	
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	4827 t
(今後実施する予定の取組)		
自社並びに契約中の収集運搬と処理業者全て電子マニフェスト導入済。		
※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の種類

- 0100 燃え殻
- 0200 汚泥
- 0300 廃油
- 0400 廃酸
- 0500 廃アルカリ
- 0600 廃プラスチック類
- 0700 紙くず
- 0800 木くず
- 0900 繊維くず
- 1000 動植物性残渣
- 1100 ゴムくず
- 1200 金属くず
- 1300 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
- 1400 鉱さい
- 1500 がれき類
- 1600 動物のふん尿
- 1700 動物の死体
- 1800 ばいじん
- 1900 13号廃棄物
- 4000 動物系固形不要物
- 2010 建築系混合廃棄物(安定型のみ)(以下、含まれる産業廃棄物の種類)
- 2020 建設系混合廃棄物(管理型含む)(以下、含まれる産業廃棄物の種類)
- 2100 安定型混合廃棄物(以下、含まれる産業廃棄物の種類)
- 2200 管理型混合廃棄物(以下、含まれる産業廃棄物の種類)
- 2300 シュレッダーダスト
- 2410 建設系混合廃棄物(石綿含有産業廃棄物)
- 2420 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物)
- 2430 廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物)
- 2440 がれき類(石綿含有産業廃棄物)
- 2450 紙くず(石綿含有産業廃棄物)
- 2460 木くず(石綿含有産業廃棄物)
- 2470 繊維くず(石綿含有産業廃棄物)
- 2500 水銀使用製品産業廃棄物(以下、含まれる産業廃棄物の種類)
- 2600 水銀含有ばいじん等(以下、含まれる産業廃棄物の種類)
- 3000 廃自動車(以下、具体的名称)
- 3100 廃電気機械器具(以下、具体的名称)
- 3500 廃電池類(以下、具体的名称)
- 3600 複合材(以下、具体的名称)
- 7000 引火性廃油
- 7010 引火性廃油(有害)
- 7100 強酸
- 7110 強酸(有害)
- 7200 強アルカリ
- 7210 強アルカリ(有害)
- 7300 感染性廃棄物
- 7411 廃PCB等
- 7412 PCB汚染物
- 7413 PCB処理物
- 7421 廃石綿等(飛散性)
- 7422 指定下水汚泥
- 7423 鉱さい(有害)
- 7424 燃えがら(有害)
- 7425 廃油(有害)
- 7426 汚泥(有害)
- 7427 廃酸(有害)
- 7428 廃アルカリ(有害)
- 7429 ばいじん(有害)
- 7430 13号廃棄物(有害)
- 7449 廃水銀等
- 7900 その他の特別管理産業廃棄物(以下、具体的名称)

別紙1(廃棄物処理法-特別管理産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(平成30年度)実績量

計画：今年度(令和元年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出量		自ら行う再生利用に		自ら行う中間処理に関する事項		自ら行う埋立処分等		処理委託に関する事項											
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	全処理委託量		優良認定処理業者		再生利用業者への		認定熱回収業者へ		認定熱回収業者以			
7000 引火性廃油	1706	1500	0	0	0	0	1103	800	0	0	603	600	603	600	0	0	72	100	531	500
7100 強酸	2764	3000	0	0	0	0	734	750	0	0	2030	2000	2025	2000	5	10	0	0	2025	1990
7200 強アルカリ	261	600	0	0	0	0	0	0	0	0	261	300	261	300	155	150	8	10	98	140
7010 引火性廃油(有害)	96	100	0	0	0	0	0	0	0	0	96	100	96	100	0	0	0	0	96	100
合計	4827	5200	0	0	0	0	1837	1550	0	0	2990	3000	2985	3000	160	160	80	110	2750	2730

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合限り、空欄へ産業廃棄物の具体的な名称を記入してください。

産業廃棄物の種類

- 0100 燃え殻
- 0200 汚泥
- 0300 廃油
- 0400 廃酸
- 0500 廃アルカリ
- 0600 廃プラスチック類
- 0700 紙くず
- 0800 木くず
- 0900 繊維くず
- 1000 動植物性残渣
- 1100 ゴムくず
- 1200 金属くず
- 1300 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
- 1400 銻さい
- 1500 がれき類
- 1600 動物のふん尿
- 1700 動物の死体
- 1800 ばいじん
- 1900 13号廃棄物
- 4000 動物系固形不要物
- 2010 建築系混合廃棄物(安定型のみ)(以下、含まれる産業廃棄物の種類)
- 2020 建設系混合廃棄物(管理型含む)(以下、含まれる産業廃棄物の種類)
- 2100 安定型混合廃棄物(以下、含まれる産業廃棄物の種類)
- 2200 管理型混合廃棄物(以下、含まれる産業廃棄物の種類)
- 2300 シュレッダーダスト
- 2410 建設系混合廃棄物(石綿含有産業廃棄物)
- 2420 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物)
- 2430 廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物)
- 2440 がれき類(石綿含有産業廃棄物)
- 2450 紙くず(石綿含有産業廃棄物)
- 2460 木くず(石綿含有産業廃棄物)
- 2470 繊維くず(石綿含有産業廃棄物)
- 2500 水銀使用製品産業廃棄物(以下、含まれる産業廃棄物の種類)
- 2600 水銀含有ばいじん等(以下、含まれる産業廃棄物の種類)
- 3000 廃自動車(以下、具体的名称)
- 3100 廃電気機械器具(以下、具体的名称)
- 3500 廃電池類(以下、具体的名称)
- 3600 複合材(以下、具体的名称)
- 7000 引火性廃油
- 7010 引火性廃油(有害)
- 7100 強酸
- 7110 強酸(有害)
- 7200 強アルカリ
- 7210 強アルカリ(有害)
- 7300 感染性廃棄物
- 7411 廃PCB等
- 7412 PCB汚染物
- 7413 PCB処理物
- 7421 廃石綿等(飛散性)
- 7422 指定下水汚泥
- 7423 銻さい(有害)
- 7424 燃えがら(有害)
- 7425 廃油(有害)
- 7426 汚泥(有害)
- 7427 廃酸(有害)
- 7428 廃アルカリ(有害)
- 7429 ばいじん(有害)
- 7430 13号廃棄物(有害)
- 7449 廃水銀等
- 7900 その他の特別管理産業廃棄物(以下、具体的名称)

別紙2 (廃棄物処理法-特別管理産業廃棄物処理計画書)

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	1639 その他の有機化学工業製品製造業
②事業の規模	製品出荷額 573,92百万円 (平成30年度実績)
③従業員数	154人 (平成31年3月末)
④産業廃棄物の	別紙3のとおり

2 特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図等, 別紙3を参照)

3 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 引火性廃油の取り組みは、 自社で極力助燃剤として焼却処理を実施した。 強酸の取り組みは、 副生塩酸は、自社排水処理で使用し有効利用する。
②計画	(今後実施する予定の取組) 引火性廃油を出来るだけ、助燃剤として自社で有効利用し、 有価物処理にできるものを再利用として処理を進める。 強酸の取り組みは、 副生塩酸は、自社排水処理で使用し有効利用する。

4 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工場内の保管場所を廃棄物を分別して保管し、自社で処理できるものにおいては実施し、 リサイクル可能なものについては再利用 (有価) を行う。
②計画	(今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の分別を進め、自社で処理できるものにおいては実施し、 リサイクル可能なものについては再利用 (有価) を行う。

5 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 引火性廃油は自社焼却炉燃料に使用し、副生酸は排水処理にて有効利用する。 引火性廃油で焼却しきれないものにおいては、有価売却を進める。
②計画	(今後実施する予定の取組) 引火性廃油は自社焼却炉燃料に使用し、副生酸は排水処理にて有効利用する。 引火性廃油で焼却しきれないものにおいては、有価売却を進める。

6 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし。
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし。

7 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) ゼロエミッションの取り組み実施。特になし。
②計画	(今後実施する予定の取組) ゼロエミッションの取り組み実施。特になし。

8 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

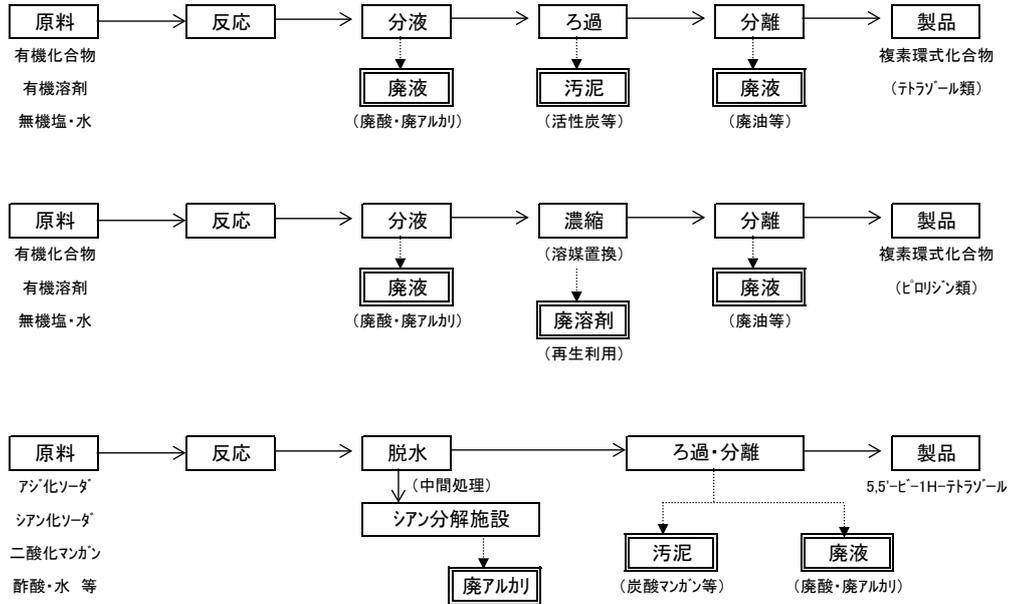
①現状	(これまでに実施した取組) 可能な限りRPF製造業者への排出を行い、排出廃棄物のリサイクルを推進。 工程の見直しで、廃液量の削減に取り組む。
②計画	(今後実施する予定の取組) 引き続き引火性廃油の見直しで有価売却を進める。またその他副生強塩酸なども 有価検討し産廃量の削減を検討する。 RPF製造業者への排出を行い、排出廃棄物のリサイクルを推進する。 工程の見直しで、廃液量の削減に取り組む。 認定熱回収業者への委託やリサイクル業者へ貢献する。

(別紙3)

- 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程
- 3-1 有機精密化学薬品製造・廃棄物発生フローシート
- 3-2 産業廃棄物処理状況一覧表別途参照
- 3-3 EMS実行組織図別途参照

3-1 有機精密化学薬品製造・廃棄物発生フローシート

図1



※ 反応缶等の洗浄有機溶剤・洗浄水(廃アルカリ)が発生するが、その大部分が焼却炉で自己中間処理される。

図2 塩素化樹脂製造・廃棄物発生フローシート

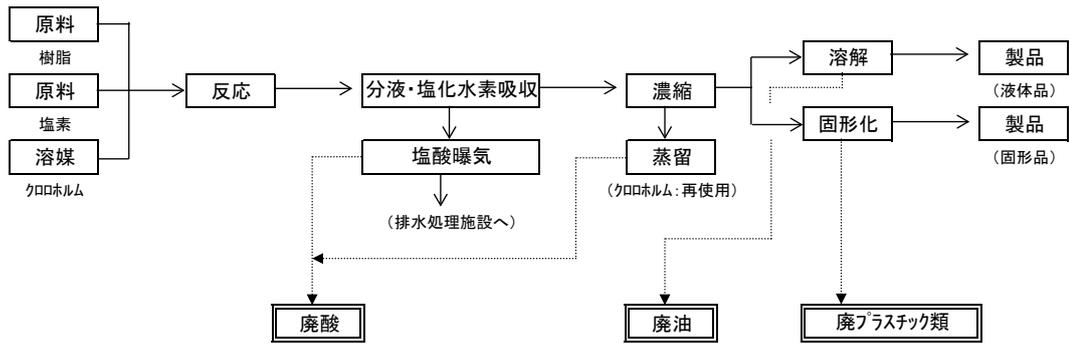
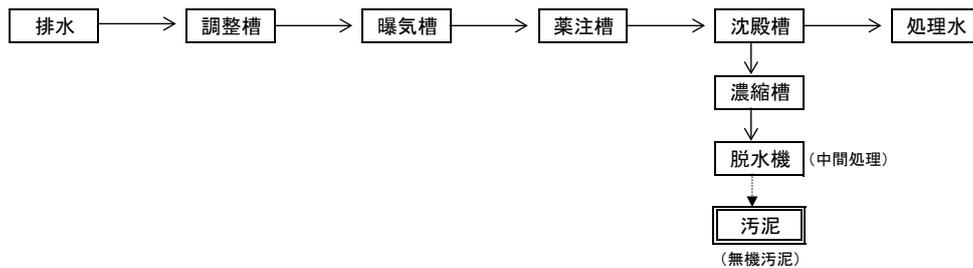


図3 排水処理施設フローシート



3-1 産業廃棄物処理状況一覧表別途参照

3-2 EMS実行組織図別途参照





No.	品名	成分	性状	処理施設	委託先	処理方法	処理温度	処理時間	処理内容	処理結果	---	---	株式会社マゼン	建設用資材化		
											---	---	---	---		
											---	---	---	---		
94	廃酸	廃酸	特管	多目的製造施設等	株山陽レック	株山陽レック	焼却 (中間処分)	---	---	---	---	---	ダイウ技術土木㈱ 住吉工業㈱ 広島県環境保全公社 樹まっえ環境の森	埋立	株ダイセキ 株ファクト	セメント原料 製造 原燃料
95	廃酸	廃酸	---													
96	廃アルカリ	廃アルカリ	特管													
97	廃アルカリ	廃アルカリ	---													
98	廃油	廃有機溶剤	特管	塩素化ポリオレフィン 製造施設等	(株)ハルミ	(株)ハルミ	混練・破砕	(株)ハルミ	---	---	---	---	住友大阪セメント 株式会社 赤穂工場	焼却		
99	廃プラスチック類	---	---													
100	廃アルカリ	---	特管	多目的製造施設、 塩素化ポリオレフィン 製造施設等	松田産業(株)	日本エコロジー(株)	中和・脱水	---	---	---	---	---	ベルベックステクノ 株式会社	天日乾燥 (造粒固形化 処理)		
101	廃油	廃油	---	多目的製造施設等	大浜運輸㈱ 株イージーエス	株イージーエス	焼却 (中間処分)	---	---	---	---	---	株ヤマ ツネイカムテック㈱ 株イージーエス	セメント原料 路盤材原料 固形燃料化		
102	廃酸	廃酸	---													
103	廃アルカリ	廃アルカリ	---													
104	廃油	廃有機溶剤	特管													
105	廃酸	濃硫酸	特管	多目的製造施設等	(株)森商事	エヌシー環境(株)	ばい焼	---	---	---	---	エヌシー環境(株)	再製品化			
106	廃酸	廃酸	---	多目的製造施設、 塩素化ポリオレフィン 製造施設等	西播環境整備㈱	西播商事㈱	焼却	---	---	---	---	---	株ヤマゼン 株足田建設	混練造粒 造粒固形化 再生土		
107	廃プラスチック類	廃プラスチック類	---													
108	廃アルカリ	廃アルカリ	---													
109	廃油	廃油	---													
110	汚泥	汚泥	---													
111	紙屑	紙屑	---													
112	金属くず	金属屑	---													
113	木くず	木くず	---													
114	廃油	廃油	特管													
115	廃酸	廃酸	特管													
116	廃アルカリ	廃アルカリ	特管													
117	廃油	廃油	特定有害													
118	廃酸	廃酸	特定有害													
119	廃アルカリ	廃アルカリ	特定有害													
120	廃酸	廃酸	特管	多目的製造施設等	株森商事	---	---	---	---	---	---	---	株インカムテック株式会 社 株インカムテック株式会 社 福山工場	路盤材		
121	廃酸	廃酸	---													
122	廃アルカリ	廃アルカリ	特管													
123	廃アルカリ	廃アルカリ	---													
124	廃油	廃油	---	多目的製造施設等	大幸工業(株)	---	---	---	---	---	---	---	---	---		
125	廃酸	廃酸	特管													
126	廃酸	廃酸	---													
127	廃アルカリ	廃アルカリ	特管													
128	廃アルカリ	廃アルカリ	---													
129	廃酸	廃酸	特管	多目的製造施設、 塩素化ポリオレフィン 製造施設等	平成ハイテック(株)	株興徳クリーナー	中和・無害化	---	---	---	---	株式会社 富士カーン	造粒固形化			

(別紙3)

○ 産業廃棄物の一連の処理の工程  
3-3 EMS実行組織図

【環境マニュアル 第15版 別表-1】

### EMS 実行組織図

高砂工場長

制定 '97.08.11  
改定22 '17.02.11

